

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	日本語コミュニケーションⅢ		(NKT22M)
講義名 (コード)	日本語コミュニケーションⅢ A		(NKT22MA)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	岩岡 夏子	時間数	30
成績評価教員	岩岡 夏子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	通常のビジネス会話のみならず、相手の心情を理解し適切な言い回しをすることでコミュニケーション力を高めることができる。
全体の内容と概要	日本語能力試験N2の文法と語彙を学んでいく
授業時間外の学修	新出語彙の意味調べ・既習事項の復習
履修上の注意事項等	JLPT合格に向けて意欲的に授業に取り組むこと

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	自分の困った状況が友達に説明できる	文法（ものの、ことに、にしては、ことか） 語彙（第13回）
2	友達の話に共感して励ますことができる	文法（さえ～ば、ようがない、あげく、もんじゃない） 語彙（第14回）
3	まとめ問題で8割正答できる	文法（Check,まとめ問題） 語彙（第15回）
4	友達の状況に共感して励ますことができる	文法（ばかりに、ことはない、に比べて、ものか） 語彙（第16回）
5	友達の状況に共感して励ますことができる	文法（というもの、Check） 語彙（第17回）
6	自分の状況や決意したことを友達に話せる①	文法（ばこそ、ないことはない、わけにはいかない） 語彙（第18回）
7	自分の状況や決意したことを友達に話せる②	文法（のみ、まとめの問題） 語彙（第19回）
8	レポートや論説文の、これまでの経緯や状況の説明ができる①	文法（から見ると、一方、ことから、のみならず） 語彙（第20回）
9	レポートや論説文の、これまでの経緯や状況の説明ができる②	文法（といった、にしがって、Check） 語彙（第21回）
10	レポートや論説文の説明が理解できる	文法（得る、に反して、に関して、反面） 語彙（第22回）
11	レポートや論説文の説明が理解できる	文法（上は、しつつある、に限らず、check） 語彙（第23回）
12	まとめ問題で8割正答できる	文法（まとめの問題） 語彙（第24回）
13	ビジネスの場面で社外の人とやり取りができる	文法（お見えになる、願う、申し上げ、ばと思う） 語彙（第25回）
14	まとめと解説	期末試験
15	まとめと解説	期末試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	TRY! 日本語応力試験N2 パワードリルN2文字語彙
参考文献・資料等	
備考	